

議会だより

No.144

☆3月定例会	14
☆2月臨時議会	15
☆一般質問	16
☆活動報告	20
☆議案等の審議結果	20

発行 麻績村議会
編集 議会編集委員会
〒399-7701
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
電話0263-67-3001
FAX0263-67-3094

3月定例会

塚原村長就任後初の定例会となった3月定例会は、3月8日から15日まで8日間の会期で開催された。

コロナ感染が収束しない中、12月定例会と同様に、アルコール消毒やマスクの着用、傍聴席数の制限や議場内の換気の徹底などに加え、加湿器の設置を行い、一般質問の時間も10分短縮し、45分とすることで、感染予防を徹底して行った。

3月定例会は、来年度(令和4年度)の村の当初予算の審議と採決を行うことが大きな議決事項となっている。

本会議第1日目は、

- ・ 条例の改正 8件
- ・ 工事変更契約 1件
- ・ 令和4年度予算(一般会計・特別会計) 7件
- その他議案 2件

の合計18件が一括上程され、本会議終了後、議会全員協議会を行い、令和4年度予算を除き、上程した議案等の詳細説明を提出者から受けた。

条例の改正については、「麻績村予防接種健康被害調査委員会」及び「麻績村福祉施設整備研究検討委員会」を設置に関する条例の改正、消防団員及び新たに設置した「予防接種健康被害調査委員会委員」及び「福祉施設整備研究検討委員会委員」の報酬の改正を行った。「麻績村国民健康保険条例の一部を改正する条例については、国民健康保険事業における今後の健全運営に向けた税率設定について、麻績村国民健康保険運営協議会へ諮問をし、この答申に基づき、資産割額を引き下げる改正を行った。

上下水道事業の条例改正に関しては、水道事業及び下水道事業における、今後の健全経営に向けた料金設定について、昨年各委員会へ諮問をし、答申に基づいて、水道及び下水道料金の改定をするとともに、消費税の課税方式の変更について条例改正を行うものである。

また「麻績村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例については「消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律」が一部改正されたことに伴い、本条例を改正するものである。令和4年度の当初予算のうち、一般会計予算については、総額26億5000万円であり、前年度より2100万円の減額である。

新型コロナウイルス感染症対策、若者定住施策促進、保育園の副食費の無料化、小中学校の給食費の補助などの子育て教育環境のさらなる充実など安心安全な村づくりといった施策に重点を置いた予算である。

一般会計と特別会計の当初予算については3月8日から実施した総務経済委員会と社会文教委員会において重点事業の内容や予算計上について詳細説明を受けた。

本会議2日目の11日には、一般質問を行い、7

名の議員が村政の執行状況や今後の方針について所信を質し、あるいは報告、説明を求めた。

小中学校のICT関連に関する整備や筑北中学校の今後の在り方、移住促進に期待される定住促進住宅について、JR聖高原駅の無人化や駅前の整備についての質問が複数の議員よりあり、その他、福祉企業センター、山ぼうし施設の整備計画、新村長の公約や方針に関してなど多岐にわたる質問がなされた。

例年であれば「開かれた議会」の一環として3月定例会の一般質問は土曜日に行っていたが、今年にはコロナ禍が継続している中、多くの傍聴を呼びかけることが出来ないため、やむなく平日の開催となった。

新型コロナウイルスの影響が議会運営にまで及び、休日議会が開催できなかったことは非常に残念であった。

本会議3日目である14日は、第1日目に上程した議案第1号から18号までの18件の審議・採決等を行い、すべての案件で原案のとおり可決した。また同日令和3年度の補正予算、条例改正、人事案件など13議案が追加で上程され、本会議終了後の全員協議会において詳細説明を受けた。

定例会最終日の15日は、追加で上程された補正予算など13件を審議し、すべての案件を原案のとおり可決した。

新型コロナウイルスが収まりをみせない中、収束への期待がかかるワクチン接種関連の予算に加え、厳しい財政状況の中、主要事業に重点を置いて編成された予算であるので、大きな事業効果が生まれるような執行が望まれる。

また、日程の最後にロシアによるウクライナ軍事侵攻に抗議する決議案が全員一致で決議された。

諸般の報告

○議員派遣結果報告

条例の改正

○麻績村附属機関に関する条例の一部改正

○特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

○麻績村国民健康保険税条例の一部改正

○麻績村営水道条例の一部改正

○麻績村下水道条例の一部改正

○麻績村農業集落排水施設の設置等に関する条例の一部改正

○麻績村浄化槽整備推進事業に関する条例の一部改正

○麻績村消防団員等公務災害補償条例の一部改正

○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

○特別職の職員で非常勤の者等の給与に関する条例の一部改正

○一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

○後期高齢者医療特別会計補正 (第2号)

○水道事業特別会計補正 (第4号)

○介護保険特別会計補正 (第2号)

○後期高齢者医療特別会計補正 (第2号)

○村道路線の認定

○聖高原別荘地地上権に関する訴訟の提起

○一般会計予算

○国民健康保険特別会計

○聖高原別荘地地上権分譲事業特別会計

○下水道事業特別会計

○水道事業特別会計

○介護保険特別会計

○後期高齢者医療特別会計

○一般会計補正 (第11号)

その他

○令和3年度社会資本整備総合交付金事業道路改良工事請負契約の変更契約の締結

○副村長の選任

○教育長の任命

○監査委員の選任

○議員発議

○ロシアのウクライナ侵攻に対し強く非難する決議書

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

計補正 (第2号)

○下水道事業特別会計補正 (第4号)

○水道事業特別会計補正 (第4号)

○介護保険特別会計補正 (第2号)

○後期高齢者医療特別会計補正 (第2号)

○副村長の選任

○教育長の任命

○監査委員の選任

○議員発議

○ロシアのウクライナ侵攻に対し強く非難する決議書

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

同意案件

○副村長の選任

○教育長の任命

○監査委員の選任

○議員発議

○ロシアのウクライナ侵攻に対し強く非難する決議書

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

された。

○コロナ感染症対策事業として、生活支援商品券の配布、村営バスの購入費、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、デイサービスセンターみづき及び保育園の感染症対策事業費などが計上されたもので、今回の補正により、令和3年度の一般会計予算の総額は33億540万円となった。

また塚原村長就任後初の議会となり、冒頭で就任におけるあいさつもなされた。あわせて12月17日に行った一般会計補正予算(第9号)の専決承認を行った。

○専決処分の承認

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

○令和3年度補正予算

ほづも議会

今年で16回目となる子ども議会を3月4日に開催した。コロナ禍の影響で2年ぶりの開催となった今回は、議場と小学校をオンラインで結んでの開催となった。

小学校社会科の学習として、また議会では村政への関心を高め、これからの麻績村を託す人材育成につながることを願って行うもので、6年生が5班に分かれ、疑問、提言、要望等をおこない議会一般質問の模擬体験をした。

各グループごとの質問事項

Aグループ

☆村の施設利用と修理・新設について
☆通学路の安全について

Bグループ

☆安全で便利なバス通学について

Cグループ

☆大型店舗について
☆安全のための街灯や横断歩道の設置について

Dグループ

☆今、村にある施設を活性化させる
☆インター周辺に看板の設置を
☆空き家をフル活用する

Eグループ

☆村の自然保護とPR

一 般 質 問

質問事項

塚原 利彦

- 人口減少抑止に関する施策について
- 中学校の今後のあり方について

宮下 朗

- 麻績小学校・筑北中学校におけるICT教育の現状について
- ふるさと応援寄付金の現状と寄付金の活用について
- 消防団の現状と報酬手当について

茂木 泰男

- 若者定住促進住宅の建設と移住希望者への対応について
- 保育・教育施設の設備等の保守点検について
- 聖高原スキー場の状況について
- 子育て環境や教育環境の充実について

飯森 寛志

- 第6次麻績村振興計画と次期計画について
- 中山間地耕作放棄地について

宮川 秀俊

- 村長施政方針の具体的な施策について
- 教育環境の充実について
- 観光事業の振興について
- JR聖高原駅無人化提案について

清水 清

- 行政組織の改編について
- 人口減少対策について
- 聖高原駅前整備について
- 聖高原駅の無人化に伴う村としての対応

飯森 茂孝

- 桑山地区移住定住促進住宅について
- JR聖高原駅の無人化について
- 障がい者の就労施設や支援施設の建て替えについて
- 分散避難所としてのシェーンガルテンについて

中学校の今後についての話し合い、 早急に麻績の方からの呼びかけを

今は両村とも、密度の濃い教育環境を 整える事が優先



塚原 利彦 議員

問 筑北中学校の現状と今後のあり方について、生徒の皆さんや小中学校の保護者の皆さんの思いをどう認識しているか。

答 現在の学校生活に關して、あまり不安な意見は聞こえてこない。保護者の皆さんは子どもたち一人ひとりの個性を大切に、伸ばしていく事を望んでいると捉えている。また、小規模校のメリット・デメリットの認識は持っていると思う。生徒もその事は感じていて、と思う。生徒たちは、学習、生徒会活動、部活動や他校との交流、少人数でも全員での取り組みによる達成感等、楽しい学校生活を送れる事を望んでいると捉えている。

問 学校統合協議を始める事となった根拠、目的に關して聞きたい。両村の教育委員会からそれぞれの村長に上申書が提出されたが、このときの上申書の趣旨、根拠は現時点でも変わっていないと認識するか。

答 ほとんど変わらないうと認識している。

問 では教育環境をめぐって、当時と同様に両村で一緒に進めていく状況に変わらないという事でよいか。

答 統合問題は別。当時の上申書で進めていくという目的に關して、当時と今と変わらぬという事である。

問 中学校の今後についての話し合いを早急に麻績の方から呼びかけていただきたいが、どうか。

答 学校統合問題については、小・中学校併せての協議が必要と思う。今は両村が密度の濃い教育環境を整えることが優先と考える。両村の教育委員会が連携を深め、情報を共有しながら互いの教育理念を理解し、寄り添える時期が来れば考えなくてはならないと思う。

保小中一貫教育におけるICTの活用は

教育委員会でしっかり計画を立てながら 進めていく



宮下 朗 議員

問 麻績小学校・筑北中学校におけるICT機器導入の状況は。

答 文部科学省の推進する一人一台端末構想により、令和2年度から小学校に93台、中学校に83台の端末と電子黒板5台、校務用のパソコンを小学校に20台、中学校に21台導入している。

問 機器の整備拡充も重要だが、ソフト面でのサポート体制は十分なのか。

答 アプリの追加、削除等の更新業務は教育委員会と支援員で行っている。アプリ導入後のサポートは、各学年2時間ずつ、教員向けには小学校1回、中学校2回実施した。

問 オンライン学習、在宅学習における自宅

答 への機器の持ち帰りは、コロナ禍で休校になった際に、中学校においては8日間オンライン学習を行った。小学校では家庭との通信テストを実施した。機器の持ち帰りについてはルールづくりは、現在校長先生と協議中である。

問 村長が公約に掲げる保小中一貫教育においても、ICTは有効な技術だと考えるが村長の考えは。

答 保小中一貫教育については現在充実に向けて進めている、ICTを活用した保小中のオンライン授業だけでなく、近隣市町村の学校とのオンライン交流授業も試行が始まっている。小規模校のデメリットを解消できるシステムでもあるので、教育委員会でしっかりと計画を立てながら進めていく考えである。



若者定住と子育て・教育環境についての考えは

将来的に需要を推測し適時適切に整備推進する 充実に向けて計画的に事業を進めていきたい



茂木 泰男 議員

問 若者定住促進住宅の建設と移住希望者への対応は。

答 現在は桑山地籍に住宅建設を進めているが、将来的な住宅需要等も推測し、村全体の中を見渡す中で適時適切に整備を進めたい。

問 空き家バンクの整備は。

答 村の空き家のマッチングを平成22年から進めており、現在までに58件の登録と未成立分が5件残っている。

問 子育て・教育環境の充実について考えは。

答 妊婦期から出産、そして乳児期から未就学児期まで子どもの成長に応じて一般健康診査や、



産後ケア事業の支援、幼児期の一般健康診査の支援、出産祝金、育児祝金などの充実した支援が行われている。教育環境については、保小中の一貫教育の推進、ICT教育の充実、保育園の副食費の無料化また小中学校の給食費の減額も実施したい。

問 教育施設内の機械等のメンテナンスは定期的に実施しているか。

答 毎年行っているが自分達のできない部分は業者へ委託してメンテナンスを実施している。老朽化等による部分は計画的に更新を行っていききたい。

第6次麻績村振興計画・次期振興計画について

6次計画と関連性を持たせ、 事業取決めを進めていく

飯森 寛志 議員



問 第6次麻績村振興計画最終年度を迎え進捗状況は。

答 麻績村でも少子高齢化の急速な進展により、農業後継者不足による農地荒廃化、若者減少による児童・生徒数の減少、地域コミュニティの崩壊、地域産業の衰退等の問題改善のための施策を進めてきた。近年は若者の新規定住者は増加傾向となり、出生数も増加している。地域おこし協力隊をはじめ、移住者を積極的に受入れ、農地荒廃抑止、農業後継者の増加等数値で見ると効果が表れており、住宅整備、子育て教育環境整備、安心・安全の村づくり等おおむね順調に進んでいると考えている。

問 第7次計画に向けてのロードマップは

答 新たな村長の施策方針を基本として第6次の振興計画の検証を踏まえて、積み残し課題や国・県の動向を見据えて各担当による計画案を作成し、振興計画審議会を開催する中で策定をしていく予定。本年度6月頃、小・中学校、住民アンケート等の実施。これらを踏まえて計画を各担当で策定、9月、10月頃に審議会から答申、3月議会に諮る予定だ。

問 新年度の森林整備計画実施について

答 新年度にアカマツ林所有者に対し、今後の経営管理について意向調査を始める。

日向、下井堀の2地区で約130人、約55軒を対象に調査を実施し、調査終了後、調査を基に取りまとめを行い現地調査も進めたい。

若者定住施策の具体策は何か

安心して住める住宅環境の整備と 空き家の活用にも取り組む

宮川 秀俊 議員



問 若者定住施策の具体策は何か。

答 安心して住める住宅環境の整備、子育て教育環境等の充実等が定住につながる。子育てに対する新たな検診の支援、保護者の負担軽減、保育園副食費の無料化、小学校等の給食費減額等が若者定住につながる。併せて空き家の活用も積極的に取り組み、情報発信したい。

問 今回の建設地の決定について何ら説明がなかった。桑山地区への建設を当初承認したのは、今年3月完成までの9区画だったのでないか。

答 景観、ライフライン、交通、道路条件等で決定されたと思っている。

問 東京、名古屋での移住相談会での実績は。

答 3回の相談会で6件相談を受け、1件の実績であった。

問 移住促進の支援策は。

答 近隣市町村では空き家活用で、引っ越し費用、不要物処理の補助制度がある。村は現在無いが、今後近隣市町村の状況を参考に改修費用と家財の処分に対する補助制度について検討したい。

問 空き家情報（空き家バンク）について登録申請しないと物件内容が分からない、ということでは空き家の活用は増えないのではないか。移住専門の職員を配置し、業者を介していないかと、当事者間での契約交渉も進まないと思うが。

答 行政はあくまでも貸す側と借りたい側のマッチングをするというところで、業者を入れることも難しい。

行政組織の改編と人口減少対策

それぞれ前向きに検討してゆく

清水 清議員



問 役場の業務も多岐にわたり大変な時代を迎えているが、行政組織の改編をしないか。

答 現状の中でそれぞれの課でしっかりと対応していく。今後DXなど専門職が必要となれば見直し対応を図る。

問 現在不在の副村長の登用の考えはあるか。

答 行政運営の多様化、会計処理等のスピーディー化などを考え配置していきたい。

問 村長の選挙公約で一丁目一番地でもある人口減少対策と子育て支援体制の強化に関して

- ・若者定住住宅の推進
- ・移住・空き家活用
- ・第三子政策 出産祝い金の大幅増額
- ・高校生の通学定期購入、補助の新設

答 などについての考えは、できる事から始める。若者定住住宅は、建設に向けて準備を進める。

高校生の通学定期購入補助は既に実施している町村もあるので前向きに検討したい。

村では、新年度保育園の副食費の無償化、小中学校の給食費の軽減、新生児の聴覚スクリーニング検査料全額補助を予定している。

生活の三大要素として昔は衣食住と言われたが、現在では、医療、職場、住環境とも言われている。

人口減少対策は出生者数を増やし人を呼び込み転出者を迎える事だと考えている。

村内のここ1・2年の出生者数は、年10人前後であり今後の学校運営にも影響をきたすと思うし、村の存亡にも係る喫緊の大きな課題と認識している。

障がい者の就労施設や支援施設の建て替えは

建設研究検討委員会を設置し 意見集約をしてゆく

飯森 茂孝議員



問 老朽化した福祉企業センター及び山ぼうし施設の建て替え計画の進捗状況は。

答 現時点でお示しできる計画はない状況である。令和4年度に設置する麻績村福祉施設整備研究検討委員会の委員の皆様により、ゼロベースから幅広い議論や意見をいただき、その上で整備計画の作成ができればと考えている。

問 老朽化した両施設の耐震対策整備は。

答 両施設は大変古い施設で、山ぼうし施設は旧保育園の後建物であり大変古いものと認識している。両施設の整備計画というのは、将来的な利用者数などを推測し、施設の大小が決まってくる。安全で安心して有意義に働く場所としての整備を進めていきたいと思っ

ている。耐震については、診断プラス施工となると1000万円〜2000万円という費用がかかる。危険箇所については整備し、簡易整備の中で新たな施設へ早急に移管できる形で進めていければと考えている。

問 グループホーム設置の考えは。

答 今、麻績村に障がいを持たれているお子さんのお父さんお母さん方については、年々、年を重ねて、その後「どうするんだ」という不安を持っている。今後、グループホーム等の施設についても研究を進めていかなければと考えている。

問 福祉施設整備に関するアンケート結果は。

答 障がい者支援施設については、就労支援施設、重度障がい者施設の建設を望む声が45・6%に達している。

いづれにしても、建設研究会を設置し利用されている皆様の意見を広く聞き、建設に向けての意見集約をしていきたいと考えている。

【議案等の審議結果】

*案件名称のうち、「麻績村」は省略します。

〔3月定例会〕

案件種別	議案番号	名称	議員名と賛否							
			飯森茂孝	塚原利彦	宮下 朗	茂木泰男	飯森寛志	宮川秀俊	清水 清	
議案	議案1号	令和3年度 社会資本整備総合交付金事業道路改良工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案2号	麻績村附属機関に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案3号	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案4号	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案5号	村営水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案6号	下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案7号	農業集落排水施設の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案8号	浄化槽整備推進事業に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案9号	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案10号	村道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案11号	聖高原別荘地地上権に関わる訴訟の提起	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案12号	令和4年度 一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	
議案	議案13号	令和4年度 国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案14号	令和4年度 聖高原別荘地地上権分譲事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案15号	令和4年度 下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案16号	令和4年度 水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案17号	令和4年度 介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案18号	令和4年度 後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案19号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案20号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案21号	特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案22号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案23号	令和3年度 一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案24号	令和3年度 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案25号	令和3年度 下水道事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案26号	令和3年度 水道事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案27号	令和3年度 介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	
議案	議案28号	令和3年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	
同意	同意1号	副村長の選任	○	×	○	○	○	×	○	
同意	同意2号	教育長の任命	○	○	○	○	○	○	○	
同意	同意3号	監査委員の選任	×	×	○	○	○	×	○	

編集委員

飯 塚 宮 茂
森 原 下 木
利 彦 泰 男
茂 彦 朗 孝

私たちは
こんな活動をしています

4月

- ・ 観光協会監査
- ・ 村体育協会監査
- ・ 例月出納検査

3月

- ・ 議会定例会
- ・ 議会全員協議会
- ・ 総務経済委員会
- ・ 社会文教委員会
- ・ 例月出納検査

5月

- ・ 議会運営委員会
- ・ 東筑摩郡村議会議長会
- ・ 臨時総会
- ・ 例月出納検査
- ・ 全国議長会議長・副議長研修会